

せたがやの文化財

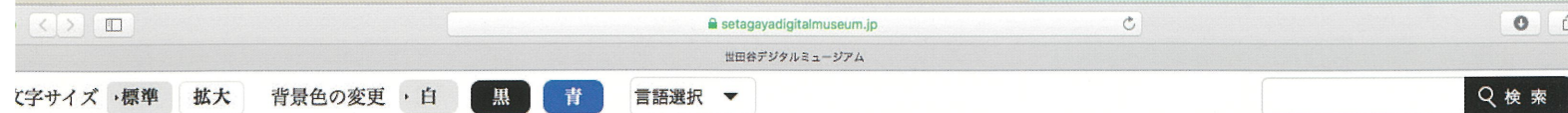
No.031

編集 世田谷区教育委員会事務局
発行 生涯学習・地域学校連携課文化財係

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
Tel 03-5432-2726 Fax 03-5432-3039
http://www.city.setagaya.lg.jp

発行日 平成31年3月31日

再生紙を使用しています



世田谷デジタルミュージアム SETAGAYA DIGITAL MUSEUM

デジタルコレクション

イベント

郷土資料館

民家園

刊行物

お知らせ

スペシャルコンテンツ

世田谷デジタルミュージアム デジタルコレクション

キーワードを入れてください



4月1日より 世田谷デジタルミュージアムを 開設します。

区内には世田谷の歴史や文化を現代に伝える数多くの文化財があります。郷土資料館などで展示を行っていますが、収蔵資料のすべてを見ることはできませんでした。

そこで郷土資料館や民家園で収蔵している文化財の情報や、せたがやの歴史や文化財に関する情報をデジタル化し、インターネット上で見ることができる

ウェブサイト「世田谷デジタルミュージアム」を構築しました。

指定文化財だけでなく、未指定の文化財やまちなかの文化財もスマートフォンやタブレット等からアクセスすることができます。普段見ることのできない資料や刊行物も見られるようになります。

※次頁に続きます。

デジタルミュージアムの主なコンテンツ

1 デジタルコレクション

郷土資料館や区施設に収蔵している文化財はこれまで常設展・特別展等で公開していましたが、スペースや期間に制限があり、すべての文化財を公開することは困難でした。世田谷デジタルミュージアムでは普段閲覧できない資料や、未指定の文化財を「デジタルコレクション」としてインターネット上で閲覧できるようになります。

2 世田谷の歴史

各時代ごとに世田谷の歴史をまとめています。

3 せたがや歴史文化物語

文化財の価値や魅力は、関連する文化財やまわりの環境と切り離すことはできません。そこで、文化財の周辺環境や関連の文化財を含めて、ストーリーを作ること、文化財の価値をわかりやすく発信していくという「せたがや歴史文化物語」の取り組みを、区民の皆様と協働して行っています。

このコーナーではできあがったせたがや歴史文化物語を紹介しています。

4 せたがや文化散策マップ

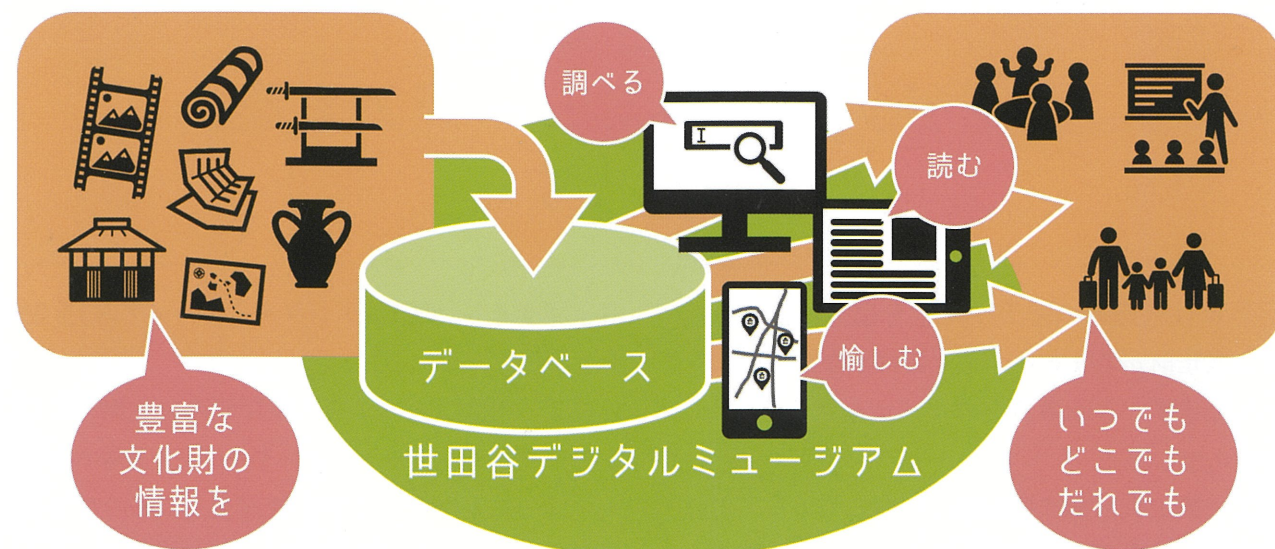
区で発行しているマップや文化財に関する情報をgoogleマップ上に表示しています。まち歩きの際にぜひご活用ください。

5 ジュニア講座

子どもたちがせたがやの歴史や文化を学べるコンテンツです。せたがやの歴史を、子ども向けにわかりやすく構成しました。

6 世田谷の記憶

まちなかにある文化財の情報を皆様に投稿していただき、そのデータを蓄積していきます。



文化財事業報告

明治150年・東京150年事業 『せたがやの明治を 考える』

平成30年(2018)年は、明治元(1868)年から150年の年であるとともに、江戸から東京への改称、東京府開設から150年の節目でした。

区では、あらためて、明治を迎えた世田谷の様子を振り返るとともに、近代への歩みをはじめた時代を考える『せたがやの明治を考える』という企画を実施しました。

1 講演会「司馬遼太郎がみた近代化－江戸から明治へ」

司馬遼太郎の幕末をテーマにした作品で取り上げられる井伊直弼や吉田松陰の墓は区内にあります。『坂の上の雲』で取り上げられた秋山好古^{あきやまよしふる}は、日清戦争で亡く



なった将兵の慰霊碑をこの地に残しており、また、世田谷区立中学校では、教科日本語で司馬遼太郎の「二十世紀に生きる君たちへ」を取り上げているなど、世田谷区は司馬遼太郎と関連があります。これらの点から、司馬遼太郎記念館館長の上村洋行氏をお招きして、講演会を行いました。

日時：平成30年12月1日(土)午後2時～午後3時30分

場所：北沢タウンホール

テーマ：司馬遼太郎がみた近代化－江戸から明治へ

講師：上村洋行(司馬遼太郎記念館館長)

参加者：183名

2 巡回パネル展「せたがやの明治」

以下のテーマで巡回パネル展を行いました。

① 世田谷の教育

近代国家を目指した新政府は国民教育の重要性を認識し、公的な公立学校の設立を進めていった。しかし初期の学校は民費負担とされたため、各村の人々が学校開設に尽力した。世田谷における明治初期の小学校設立の歴史をたどる。

② 明治をむかえた世田谷の風景

明治に改元しても、世田谷は江戸時代から続く純然たる農村であり、当時の村の様相を描いた絵図からも、こうした風景をうかがうことができる。太陽暦の採用など近代化が進められる中、世田谷での庶民の暮らしにも徐々に変化が見られるようになっていく様子をたどる。

③ 世田谷の近代産業－農事改良・茶・養蚕－

近郊農村であった世田谷では、近代化の進展は、まず農業の分野で始まった。農業技術の改良によって生産性を高める取り組みが行われるようになり、また、外国

との貿易が活発になり、輸出の主要品目となった茶や生糸の生産も始まった。製茶業にいち早く注目した農家や、村ぐるみで養蚕・生糸生産を熱心に行った地域など、当時の人々がすすめた世田谷の産業の近代化を紹介する。

④ 幕末維新の世田谷

幕末維新期、混迷する社会状況は、世田谷の人々の暮らしにも影響を及ぼさずにはおかなかった。吉田松陰、井伊直弼といった歴史上の人物と世田谷とのつながりを紹介しながら、当時の人々が直面した歴史的過程を追う。



特別公開 勝光院書院

開催：平成30年5月26日(土)

午前10時から午後4時

平成30年5月27日(日)

午前の部：①午前11時から正午

★ 午後の部：②午後1時30分から午後2時30分

③午後3時から午後4時

内容：勝光院書院、本堂、吉良氏墓所の自由拝観

【5月26日(土)】 書院の見学

【5月27日(日)】 書院の解説と見学

会場：勝光院書院、本堂、勝光院の梵鐘及び吉良氏墓所

講師：稲葉和也氏(建築史家)



本堂の自由拝観(5月26日)

勝光院は世田谷でも由緒のある曹洞宗の寺院で、中世の世田谷領主吉良氏の菩提寺でした。境内には江戸時代に建てられた「勝光院書院」や「勝光院の梵鐘」、また「吉良氏墓所」などの世田谷区の歴史をうかがい知ることができる文化財が残されています。

今回の特別公開は、5月26日と27日の2日間行いました。1日目は多くの来場者に勝光院の文化財に触れていただく機会とするため、来場者が自由に見学できる特別拝観の日としました。また、翌日は建築史家の稲葉和也氏を講師に迎え、勝光院の歴史的価値やみどころなどについてご講義していただきました。通常非公開ということからも、この2日間の特別公開には多くの方が参加され、世田谷区の文化財を知るよいきっかけになったようです。



講師による勝光院書院の解説(5月27日)

せたがや歴史文化物語

区内には歴史や文化を伝える様々な文化財があります。これまで、文化財は文化財だけで保存・活用されることが多くありました。しかし、文化財の価値や魅力は、関連する文化財やまわりの環境と切り離すことはできま



せん。そこで、文化財の周辺環境や関連の文化財を含めて、ストーリーを作ること、文化財の価値をわかりやすく発信していくという「せたがや歴史文化物語」の取り組みを行いました。

区民の皆様にご参加いただき、「世田谷の古道一大山道一」というテーマで2日間に渡りまち歩き及びワークショップを行いました。



平成30年せたがや文化創造塾

開催：平成30年9月1日(日)、2日(土)、10日(日)

場所：教育センター「ぎんが」

毎年ご好評をいただいているせたがや文化創造塾では、文化財保護審議会委員の先生等を迎え、6講座を開講しました。

縄文時代の家を廃棄する際の特異な儀礼的行為に関するもの、戦前の祝祭日と現在の祝日の違いなどの近現代の祝祭日に関するもの、江戸時代に刊行された挿絵入り小説「草双紙」の一つ目やろくろ首を主人公に、ばけものの見合いや婚礼に関する講演を行いました。



また、世田谷区の祭囃子に関する講座では、祭礼の囃子の講義に加え、囃子の演奏を視聴、リズムを体験する内容で多くの方が興味深く耳を傾けていました。

[平成30年せたがや文化創造塾講座一覧]

講座番号	日にち	時間	講座名	講師	講師名称
1	9月1日(土)	10:00～12:00	ガラスから見る古代東アジア社会	小寺 智津子	国士舘大学非常勤講師
2	9月1日(土)	13:30～15:30	武蔵野の民家を再考する	重枝 豊	日本大学教授
3	9月2日(日)	10:00～12:00	縄文時代における住居の廃絶と儀礼行為	山本 暉久	昭和女子大学名誉教授
4	9月2日(日)	13:30～15:30	近現代の祝祭日	田中 宣一	成城大学名誉教授
5	9月9日(日)	10:00～12:00	祭囃子 - 系譜と基本的な奏法 -	小野寺 節子	国士舘大学講師
6	9月9日(日)	13:30～15:30	江戸の化物草双紙を読む - 『ばけ物よめ入』を中心に -	神林 尚子	鶴見大学准教授

旧清水邸書院活用事業

区登録有形文化財旧清水家住宅書院(通称旧清水邸書院)は明治43年頃に創建されたと伝わる和風建築です。2度の移築を経て平成25年に区立二子玉川公園に復元されました。

毎週日曜日・祝日・第2月曜日を開放日としていますが、より親しみをもって活用していただくため、下記の催しを行いました。



呈茶

開催：平成30年4月22日(日)、5月13日(日)、
10月14日(日)、11月11日(日)

抹茶とお菓子のセットを販売し、邸内で召し上がっていただきました。当日は道具や茶道の解説も行い、子どもから大人まで日本の伝統文化に触れる一時を楽しみました。



伝統の香

—香りを楽しむひなまつり—

開催：平成31年3月2日(土)

数種類の香木の香りを聞き分ける(香りの違いを嗅ぎ別ける)簡単な体験(聞香)を行い、日本伝統の香の文化を紹介するとともに、ひなまつりにちなんだ、はまぐりを使った貝合わせ・折り紙での匂い袋の作成を行いました。合わせて、雛人形の展示も行い、日本伝統の年中行事を紹介しました。

第11回野毛古墳まつり

開催：平成30年10月21日(日)

今回も野毛町会をはじめ、社会福祉協議会、上野毛まちづくりセンター、等々力商店街、野毛青少年交流センター、昭和女子大学、紙風景、古墳にコーファン協会など多くの団体にご参加いただきました。

快晴の中、前方部のステージでは、3回目の登場となる歌手で、古墳研究家のまりこふん氏のトークショーとライブを行い、野毛青少年交流劇団「若者と古墳」の初の演劇で会場は大いに盛り上がりました。

また、古墳散策には37人の参加があり、「野毛古墳群の魅力に触れて大満足です」とコメントを寄せていただきました。



第13回世田谷区遺跡調査・研究発表会

開催：平成30年11月25日(日)

会場：教育センター

内容：①講演

「南武蔵における古墳時代後期から古代の墓制について」

(公財)かながわ考古学財団の柏木善治氏に、古墳時代後・終末期の古墳・横穴墓の内部構造、出土する副葬品及び遺物からみた儀礼などや古代の火葬墓について講演いただきました。

②調査報告

- ・平成30年度遺跡調査の概要
- ・奥沢台遺跡第47次調査
- ・多聞山遺跡・三宿城跡第2次調査



郷土資料館の展示

江戸・明治の肖像画

—世田谷ゆかりの人物を中心に—

平成30年10月27日(土)～11月25日(日)

本展覧会では、世田谷ゆかりの人物の肖像画を一堂に会し、そこに写し出された像主たちの遺した足跡をたどりました。

来館者からは、珍しい肖像画をたくさん見る事ができた、世田谷ゆかりの人物について知識を得ることができた、といった感想をいただきました。また、期間中に行った展示解説会にも多くの方にご参加いただきました。

[ミニ展示]

世田谷ゆかりの近世画人2

～長谷川雪旦・雪堤

平成30年12月1日(土)～平成31年1月27日(日)

『江戸名所図会』の挿絵を担当したことでつとに知られる江戸時代後期の画家・長谷川雪旦と、その息子・雪堤の作品展。数少ない世田谷ゆかりの近世画家であり、現在両人の墓は、烏山・幸龍寺にあります。



郷土歴史文化特別授業

区内で出土した土器や石器などを小学校に運搬し、当時の人の暮らしなどについて、6年生を対象に、学芸員が特別授業を行いました(14校)。また、玉川野毛町公園において、古墳等について学芸員が特別授業を行いました(2校)。

さらに、学校内に周辺地域で出土した土器やパネルを3週間ほど展示し、児童や保護者等に郷土「せたがや」の歴史を知っていただきました(4校)。(5～11月実施)



民家園の展示

次大夫堀公園民家園企画展

『回想・次大夫堀公園民家園
—「民家園」をつくる—』

会期：平成30年11月1日(木)～平成31年1月1日(祝)

昭和63年、次大夫堀公園民家園が開園しました。建設にはすでに岡本公園民家園で試みられていた古民家の保存と活用、運営の理念や方法を採用し、様々な事業が展開されました。「民家園づくり」の意義を考える展示を行いました。

収蔵資料展

『物置民具考』

会期：平成31年2月22日(金)～3月24日(日)

農家の敷地内には、農具や生活道具をおさめる物置がありました。米や麦といった穀物などの保管の場だけでなく、脱穀、俵づめなど作業の場としても使用され、農家にとってはなくてはならないものでした。近年、解体を余儀なくされた物置と、そこで使用されていた道具類を通して農家の暮らしぶりをひもとく展示を行ないました。



重要文化財

大場家住宅の保存修理工事

一般財団法人大場代官屋敷保存会では、平成30年12月18日より区内で唯一の重要文化財建造物である大場家住宅の保存修理工事に着手しました。工事は耐震補強工事と屋根の茅葺替工事が中心に行われています。

大場家住宅は元文2年(1737)に建築された住宅で、彦根藩世田谷領代官の役宅兼住居として建てられたものです。昭和53年に国の重要文化財(建造物)に指定されました。

今回の工事を機に、一般公開の範囲を現在の土間部分のみから主屋全体に変更します。これに伴い土間に^{かまど}竈を復原するほか、照明器具やトイレなどの設備も整備し、より充実した活用が図れるような工夫を施す予定です。

工事の竣工は平成31年11月末を予定しています。しばらくの間、代官屋敷には立ち入ることができませんが、リニューアルした大場家住宅をご期待ください。

主屋屋根解体前

主屋屋根北面 茅葺解体



表門茅葺解体



主屋

せたがや文化マップ vol.4 の発行



文化遺産から現代アートまで、世田谷区の歴史文化を紹介しているパンフレット「せたがや文化マップ」を大幅リニューアルしました。今回のリニューアルでは内容を一新し、多言語版(英語、中国語、韓国語)も作成しました。区内図書館等で配布しています。

